



第28回群馬県民の日記念事業 「ぐんま山と森の月間」協賛イベント ぐんま山の日制定記念 第35回県民登山大会報告

群馬岳連個人会員委員会 佐竹 幸子 (高崎山岳会)

平成24年10月21日(日)に前橋市粕川町の赤城大猿川周回尾根と長七郎山(1578.9m)周辺を会場として、群馬県山岳連盟主催、「ぐんま山と森の月間」推進協議会共催、群馬県、群馬県教育委員会、(財)群馬県スポーツ協会、

前橋市、前橋市教育委員会、前橋市体育協会の後援で第35回県民登山大会が開催されました。新たに発足した個人会員制度の会員募集が平成22年度から始まり、会員数が68名となった平成24年3月に開催された個人会員全体会議で、佐

藤理事長が県民登山の主管を個人会員に要請し、その場で快諾されました。

目的地とコースの選定 個人会員委員会では4月に検討を開始して6月に決定しました。赤城大猿川周回尾根は一般の登山者が比較的小さいので、個人会員のテント泊研修を兼ねた10月の交流登山の目的地としていました。これをAコース(一般向け)とし、Aコースに長七郎山登山を加えてBコース(健脚向けコース)としました。この2つのコース参加者が登山道で

10月3日(水)に7名でコースの刈り払いをし、大会前日に3名でフィックスロープを設置しました。地元ならではの記念品の代りに今が旬のリンゴにすることを決め、大会前日に山越委員がリンゴを農家に仕入れに出かけ、その他の個人会員は15時に集合場所となっている「おおさる山乃家」に集まって大会の準備をしました。準備終了後に焚火を囲んで交流を深めて翌日に備えました。

Aコース 前半の緩い登り



Bコース 最後の下り

合流したり、すれ違ったりしない様に周回尾根を回る方向を逆にしました。
準備(コースの下見・コース整備・記念品)
9月1日(土)に19名(個人会員14名と個人会員委員5名)でコースの下見をし、つつじが峰通りはコース整備が必要であると判断しました。

受付と開会式 6時30分に大会の本部役員が到着して準備が手際よく進められて、7時前に受付が開始され、7時30分に開会式が始まり、佐藤大会委員長から各コースのチーフリーダー(CL)が紹介されました。参加者はCLのもとに集まってコースの説明を受けた後、準備体操をしました。そして、秋の環境美化運動の一環として清掃活動を実施するために自然保護委員会から配布されたゴミ袋を持って8時前に登山を開始しました。

通信部 本コースでは携帯電話の電波が届かないことが下見で確認されたので、沼田山岳会より無線機3台とトランシーバー8台を借りて、各コースと本部間で連絡を



長七郎山山頂にて

とりました。コース内では班分けを行わずに、行動役員が一般参加者の中に入って一緒に登山をし、一般参加者は先頭から最後部まで自由に移動できるシステムを採用したので、参加者数の多いBコースでは休憩の連絡などにトランシーバーがとても役立ちました。

医療救護部 個人会員である齋藤医師(Aコース)の他に、矢野医師(Bコース)と三木看護師(B

コース)と一緒に登山しました。長七郎山の近くの小沼駐車場にミヤマ山岳会の女屋さんと小和田看護師が待機しました。また、ものの時に備えてAEDなどの医療機器も本部に準備され、恵まれた医療救護部体制をとることが出来ました。

参加者数 一般参加者89名と役員参加者48名(個人会員23名と個人会員委員6名を含む)の合計137名が参加しました。

Aコース(大猿川周回尾根コース 一般向け)
CL 森田治樹
(個人会員、個人会員委員)
サブリーダー(S)
L 山越稔雄(群馬登高会、個人会員委員)
参加者数 40名
(一般参加者29名、役員参加者11名)
コースと行動時間 おおさる山乃家8:00出発
↓つつじが峰通

り↓横引尾根11:00到着 昼食11:30出発↓茶ノ木畑峠↓追分↓小峰通り↓おおさる山乃家13:45到着 歩行時間は約5時間でした。

概要と感想 「おおさる山乃家」を起点に大猿川周囲を右周りする標高差600mのコース。前半の緩い登りで油断し、後半つつじが峰の急登を登り、小峰通りの急坂を下る膝に厳しい所でしたが初心者も常連さんも無事登山口に戻りました。(CL 森田治樹)

Bコース(長七郎山登山 健脚向け)
CL 根岸 仁(個人会員、個人会員委員)
SL 阿部 源(群馬ミヤマ山岳会、個人会員委員長)
参加者数 87名(一般参加者60名、役員参加者27名)
コースと行動時間 おおさる山乃家7:45出発↓小峰通り↓茶ノ木畑峠↓長七郎山11:00到着 全体写真撮影 昼食 点呼 12:00出発↓茶ノ木畑峠↓横引尾根↓つつじが峰通り↓おおさる山乃家14:45到着 歩行時間は約6時間でした。

労しました。ゆっくりペースで山頂に全員到達し、昼食後は紅葉を遠くに見ながらの下山で楽しんでいただけようです。負傷者も無く無事大役を果たすことができ、個人委員会会員をはじめ、協力いただいた各山岳会及び岳連役員の皆様に感謝いたします。(CL 根岸 仁)

閉会式 個人委員会員の長田さん(沼田山岳会)が個人会員と一緒に作って下さったキノコ汁を下山後にいただき、15時すぎに閉会式が始まりました。予想以上に多くのゴミを集めて下さった参加者に感謝して15:30に閉会しました。

感想 紅葉が見頃のつつじが峰通りを下し、スキの群落を通って車道に出た時、皆無事に下山できたこと、大会の前日・当日ともに晴天に恵まれたこと、岳連の大先輩から山歩きの基本や大勢の参加者と楽しく安全に山行するノウハウを勉強できたこと、新たな知



下山後にキノコ汁で接待

己を得たこと、個人会員が主務めることができたことなどを感じました。個人会員と個人会員委員と一緒に企画、準備、運営を楽しみました。この経験を通して、お互いの距離が近くなったこと、少しか成長した自分に気づいたこと、群馬県山岳連盟を支える素晴らしい人々と一緒に仕事が出来たことは、今後の山行をさらに楽しいものにしてくれることでしよう。

平成二十四年度

登山教室 報告と課題

群馬岳連登山指導委員会 対 比 地 昇

(高体連登山専門部)

長い間、総務としてこの登山教室の運営に尽力してくださった高橋守男さんから引き継ぎ、不安を感じつつの出発であったが、皆さんの指導員の方に協力してもらうことができ、今年度も無事終了することができた。講習の回数、内容とも特に大きく変えることはなく、今までの運営方針で計画し、

参加状況も、申し込み三十一名、参加二十八名、修了証の獲得者(五回の講習すべてに出席)二十名で、例年並みであった。各講習の概要は表の通りである。

②登山を始めて何年ぐらいですか。また、1年に何回くらい登山に出かけますか。

⑥参加してみてどうでしたか？

⑤参加した理由は何ですか？

回数	実施日	内 容	参加	講師
1	9/5(水)	開講式 座学(読図1)	28	16
2	9/9(日)	登山実技 「榛名山」	27	9
3	9/26(水)	座学 (安全登山)	26	15
4	9/29(土)	登山実技「谷川 厳剛新道～西黒尾根」	22	6
5	10/3(水)	座学(読図2) 質疑応答・閉講式	27	10
特別 講習	2/23(土)	登山実技(スノーシュー) 「玉原」	13	4

男	11
女	15

20代	2
30代	3
40代	4
50代	11
60代	5
70代	3

初めて	24
あり	2

あり	17
なし	9

あり	3
なし	23

理解できた	6
少し難しかった	13
難しかった	4
欠席	0

理解できた	15
少し難しかった	7
難しかった	0
欠席	1

無雪期のテント泊山行	10
無雪期の小屋泊山行	8
縦走路でのロープワーク	11
岩登り	10
沢登り	8
雪山登山	4
その他	
歩行技術	1
一人では行けない山	1
行ったことのない山登り	1

実技

読図	13
山の天候と天気図	15
山での危険の回避	13
山での応急処置	16
服装・装備	9
歩行技術	11
行動計画	9
食糧計画	4
生活技術	5
その他	
身体づくり、トレーニング方法	1
パッキング方法	1

座学

⑧登山教室のテーマとして興味のあるものは？(複数回答可)

理解できた	19
少し難しかった	1
難しかった	0
欠席	2

理解できた	13
少し難しかった	6
難しかった	0
欠席	4

理解できた	11
少し難しかった	8
難しかった	3

・座学
「安全登山」
・実技
「谷川」
・座学
「読図2」

アンケートの結果

①参加者の男女数、年齢構成、この登山教室の参加経験。

③小屋泊の経験は？

④テント泊の経験は？

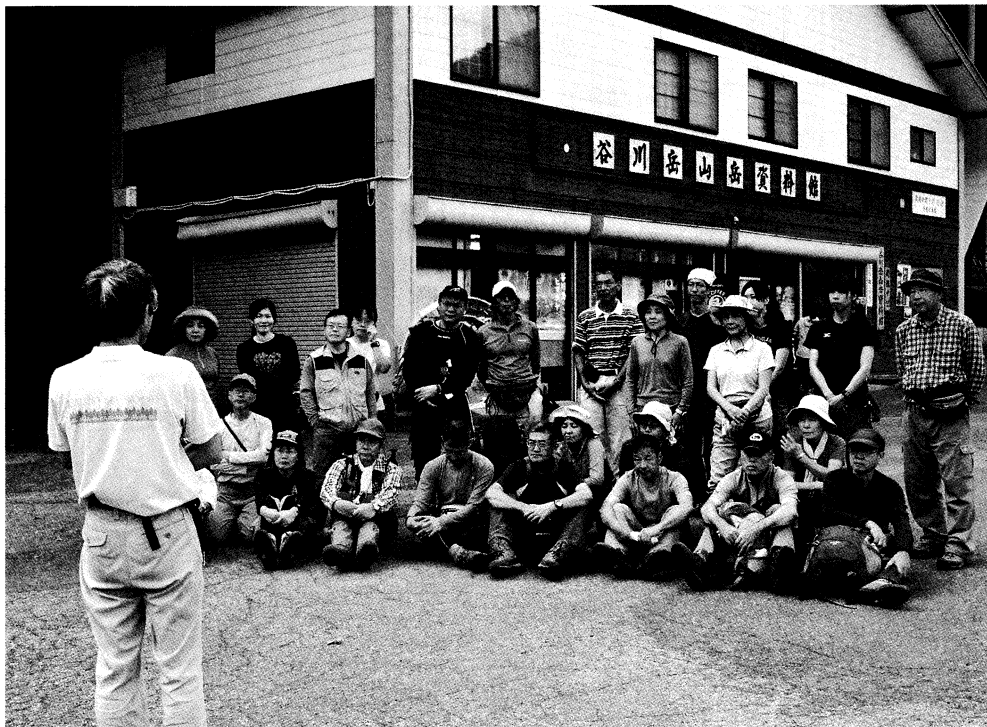
⑦各講習は理解できましたか？

・座学「読図1」
・実技「榛名山」

大変いろいろと勉強になりました。参加させていただきありがとうございました。ガイドさんにはお世話になりました。ありがとうございました。
読図も実際に山で教えてもらえてうれしかったです。
いろいろと勉強になりました。先生方お世話になりました。ありがとうございました。読図おもしろかったです。岩場の実習も楽しかったです。
講習は大変勉強になり、実技は参加できとてもよかったです。体力がなく皆さんに迷惑をかけましたが、お友達もできて、情報交換できたり楽しい思い出ができました。写真ありがとうございました。機会があればまた、参加したいです。
一人では山に登る機会がないので、このような教室を見つけることができてよかったです。毎年というか隔年くらいで登る山が変わるといろんな山に登れるので参加したいと思いました。
親切丁寧に教えていただきありがとうございました。とても楽しい登山教室でした。読図がきちんとできるよう頑張りたいと思います。
楽しかったです。お世話になりました。
5回の研修で大変参考になりました。小屋泊の研修も企画してほしいです。
地図の大切さがよく分かりました。これからの登山に生かせると思います。
高齢者への配慮が少し足りない。
仕事や体調不良で2回参加できなかったのがとても悔しいですが、よい勉強になりました。また、機会があれば参加したいです。
いつもの仲間の登山と違い、新鮮な気持ちで参加することができました。毎回期待を持って参加し、知識や技術を習得しました。読図はあと一歩です。読図に興味を持つきっかけになりました。習得するまでいつもの仲間に教わりながら頑張ります。5回にわたり親切なご指導ありがとうございました。楽しく通わせていただきました。
ロープワーク等の実技をもう少し経験したかった。
カラビナと細引きの使い方について、時間の関係で割愛となり残念でした。
都合で現地講座に1回しか参加できなかったのが残念でした。とても充実した時間を過ごさせていただき感謝です。来年も参加したいと思います。
講師の皆さんから山に関する情報や疑問点について、大変詳しく教えていただきありがとうございました。
実技講習の回数を増やしてください。4, 5回程度。
大変役に立ちました。どうもありがとうございました。スノーシューもよろしくお願いします。
コンパスの使用は、講習の時は理解できたつもりでも、いざ使用するときまで時間が空いてしまうため忘れてしまうこともあります。山に行く際に使用し、教えていただいたことを修得したいと思います。もう一度資料を参考に学習（復習）したいと思います。
読図を実践しながら何度かやっているうちに少しずつ分かった気がしました。時間がたったら忘れてしまうかもしれませんが・・・。色々お世話になりました。ありがとうございました。
スノーシューの昨年の写真など見せていただけると様子が分かりやすいと思います。口頭での説明だけでなく、実物など見せてもらえるとよいと思う。あらかじめ予定や持ち物、用意するものなど知らせしてほしいと思います。予想される質問の答えは資料を用意してほしいです。
座学は2, 3時間かけて学んだ方が理解がより深まったと思いました。
第2回の登山実技で班編成が決まりました。第3回以後の座学の時もこの班毎に席を決めてくださったら、登山実技以外でも同じ班の人たちと話しができたかなと思いました。(一人での参加でしたので)
山岳連盟のHP、ブログ等での情報発信を活用してほしい。

この登山教室は、要項に書かれているとおり、登山を始めた人が、安全で楽しい登山ができるように基本的な知識と技術を習得してもらうことを目的にしている。登山の経験年数が2年までの参加者が大多数であり、目的に沿った講習を用意することが大切である。登山において最も基本となる読図の

講習を毎年実施し、連続して参加するリピーターのことと考えて、服装・装備、安全登山、救急法、危険の回避、食料計画、登山に必要な体力、山の気象、自然保護等、年度によって変化を持たせる講習も用意してきている。座学についてはほぼ参加者の要望に沿ったものになっている。実技については



谷川岳山岳資料館にて

テント泊、岩・沢登り等の要望も多数あるが、この登山教室の次のステップという位置づけで、個人委員会や各山岳会への入会を勧めていくということであると思う。この登山教室においては、基本的な内容の講習を分かりやすくし、しっかりできるようにしていくということが大切である。また、講師の負担を考えると、この講習会の回数、時間をこれ以上増やすことは難しい。二年または三年連続して参加してもらい、幅広く基本を身につけてもらうというのではないかという意見も出されたが、毎年、参加者の大多数が初参加者ということを見ると、不十分な内容ではあるが、現状通り年度ごとに完結させ、多くの登山初心者に学ぶ機会を与える方がいいのではないか。今までは第一、三回に座学、第二、四回に実技を入れていたが、座学で読図、服装・装備等、基本となるものをしっかり学んでもらってから実技に臨んでもらう方がいいと考え、来年度は第一、二回を連続して座学にし、第三、四回を実技と変更する予定である。また、過去何回も指摘されていることではあるが、講師の固定化、講師となる指導員資格保有者の減

少及び、高年齢化はますます顕著になってきている。指導員として広く社会に貢献するというのも大切であるが、安易に外部講師に頼らず、群馬岳連内、指導員個々の力量を高め、お互いに楽しくやりがいを感じながら、和を育むということも大切にして運営されて

きている。参加して「楽しかった」「役に立った」という多数の声に励まされ、やりがいを感じることもできる。若い指導員を増やすことも大切であるが、多くの指導員及び、群馬岳連会員の方に協力してもらうことができればと考えている。



登山実技（スノーシュー）玉原にて



ご存知
ですか？

～日本山岳協会山岳共済会会員様限定～ 「山岳共済会の山岳遭難・捜索保険」のすすめ

〔正式名称：傷害総合補償保険特約付普通傷害保険〕

約52%
割引!!



●このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレット「山岳共済会の山岳遭難・捜索保険のご案内」をご覧ください。(パンフレットは日山岳協会山岳共済事務センター宛ご請求ください。)



この保険の主な補償内容

- ・登山中のケガで死亡された場合 (※加入タイプによってはケガによる入院を補償対象とすることができます。)
- ・登山中に遭難し、遭難・捜索費用や救援者費用が発生した場合 等
- ・なお、登山・ハイキング中だけでなく、日常生活や業務中に起こった傷害事故も補償の対象となります。

この保険のご加入条件

- この保険は「日本山岳協会山岳共済会」が契約者となる団体傷害保険です。
- お申込人(=被保険者(補償の対象者))となる方は「日本山岳協会山岳共済会会員」のみとなります。
- 会員になる為の手続き方法は、山岳共済会ホームページ掲載の「山岳共済会のしおり」をご確認ください。(毎年別途会費が必要です。)

補償内容・保険料表 (詳しくはパンフレットをご請求のうえ、ご参照ください。)

～「登山コース」の保険料例～

職種級別 A

(1) 保険始期日が4月1日の方

入院補償付タイプがおすすめ!

昨年からの1年間*で入院は171件、通院は304件のお支払い
事実がありました。(※平成23年10月1日～平成24年10月1日の支払実績)
1Bセット・1Cセットなら、1年間1万円前後の保険料でケガによる
入院にも備えることができます!



＜「登山コース」＞								
保険金額	契約基本タイプ							
タイプ名	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
死亡・後遺障害	100万円	100万円	159万円	159万円	235万円	235万円	500万円	500万円
遭難捜索費用	100万円	100万円	150万円	150万円	200万円	200万円	500万円	500万円
入院保険金日額	1000円	なし	1000円	なし	1500円	なし	2500円	なし
入院を伴う手術保険金※1	○		○		○		○	
通院保険金日額	600円		600円		900円		1500円	
賠償責任	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保 険 料	6,450円	3,900円	8,260円	5,710円	11,540円	7,720円	23,940円	17,570円

※1 手術保険金は、入院を伴う手術の種類に応じ入院保険金日額の10倍、20倍、40倍の額をお支払します。

～「ハイキングコース」の保険料例～

職種級別 A

(1) 保険始期日が4月1日の方

通院補償付タイプがおすすめ!

昨年からの1年間*で入院は171件、通院は304件のお支払い
事実がありました。(※平成23年10月1日～平成24年10月1日の支払実績)
Ⅱセット・新設のⅢセットなら、ケガによる通院にも備えることができ
ます!



＜「ハイキングコース」＞			
保険金額	契約基本タイプ		
タイプ名	I	Ⅱ	Ⅲ
死亡・後遺障害	150万円	250万円	300万円
救援者費用	300万円	300万円	500万円
賠償責任	1億円	1億円	1億円
入院保険金日額	2,000円	4,000円	5,000円
入院を伴う手術保険金	入院を伴う手術の種類に応じ入院保険金日額の10倍、20倍、40倍の額をお支払します。		
通院保険金日額	なし	1,500円	2,500円
保 険 料	2,140円	5,470円	7,540円

新設しました!

- 「登山コース」は、ピッケル、アイゼン、ザイル等の登山用具を使用する登山中の事故を対象としております。
- 一方、「ハイキングコース」は前記の登山用具を使用しない普通の登山(ハイキング等)中の事故を対象としています。
- このチラシの保険料は一例です。ご加入者様のご職業によって保険料が異なります。詳しくはパンフレットをご請求のうえ、ご参照ください。
- どのタイプでもご加入できますが複数タイプ・セットのお申込みはできません。(全ての加入タイプ・セットのうちいずれか一つのみ選択可能。)
- 保険金額はご加入いただいた被保険者の人数に従った割引率で決定されますので、募集の結果上記と異なる保険金額に変更される場合があります。この場合、死亡・後遺障害保険金額を割引率に応じた金額とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 保険期間は平成25年4月1日～平成26年4月1日となります。毎月、パンフレット掲載の所定の日付での中途加入も受け付けております。

お問い合わせ及びパンフレット請求先: 日本山岳協会山岳共済事務センター

月～金 10:00～17:00(土・日・祝祭日除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707

電話 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397

Eメールアドレス sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

ホームページ

契約者: 日本山岳協会山岳共済会

取扱代理店: 瀬田工業有限会社

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

承認番号: B12-102339 使用期限: 2014.4.1

群馬県高体連登山専門部

平成二十四年度の活動

委員長 田 中 洋 史

2期4年間に渡り加盟校部員数を順調に回復するなどの活躍をされた対比地委員長が退任、交代したことにより委員長在任校の峯川一郎校長を部長に迎え発足した常任委員・委員会は若手の副委員長が就任し気分を一新し次世代の登山専門部運営を担う陣容となった。

け、450人を超えた。しかし加盟校は1校減少しており、震災後、自然に対する関心を深める高校生が増えている中で受け皿が狭いことは残念である。指導できる顧問を育成し、加盟校を増やすことが今後の課題である。

とりわけ「安全」が大切な登山専門部であるので、部長の指示と指揮の下に、活動を継承発展させることを第一の課題として各行事に取り組んできた。しかし、実際の行事は交通・通信などが困難な自然環境の中で行われ、徒歩・人海戦術が中心の運営になるので、核となる常任委員が減少した事が行事運営に徐々に影響していることは否めないようだ。安全に影響がなければ良いが、とにかく事前準備を工夫し、効率的にやってみよう。

今年度、加盟35校、登録生徒467名(男子29校314名・女子9校153名)で、登山ブームの影響が今年度も順調に増え続

ぐらいで、小規模な民間施設に頼っているのが現状だ。まずは練習施設の確保、指導者の養成、またジュニアからの育成が急務である。

第39回リーダー冬季講習会

(平成23年度行事)

○平成24年3月26日(月)～29日(木)

○尾瀬富士見峠周辺

○参加 10校、78名(男子53名、女子25名) 顧問19名、岳連講師2名、合計99名

○概要 26日、晴れ。13:00尾瀬ふらり館にて受付、開会式。班編成の後、旧並木ゲレンデ周辺で実技講習(服装、装備、雪上歩行等)を実施。その後、富士見旅館に移動し、班長ミーティング、リーダーミーティングを行い、夕食をとった。19:00より富士見旅館大広間で全体会が行われた。全体会では伊勢崎山岳会、石井達幸さんによる「カナダ・クライミング報告」を行った。

27日、晴れ。起床4:00。並木駐車場を6:15出発。5班に分かれ、富士見下、田代原、そして渡

渉点から、すべての班が湿原コースをとり、13:55～14:20に富士見小屋に到着した。15:55入り口の掘り出し完成、小屋に入り、班長ミーティング、リーダーミーティングを行い夕食をとった。

28日、雪。起床4:00、小屋を6時頃班ごとに出発。アヤマ平方面に1班、白尾山・荷鞍山方面に4班が向かった。途中、読図、雪上歩行、緊急時の対応等の講習を行い、11:15～12:37までに富士見峠近くの1905m地点に到着。

昼食後、ピーク東側の斜面に雪洞作りを体験した。14:00頃から、5班それぞれ、ブルーシートを用いた救急ソリを作り、富士見小屋まで搬送訓練を行った。夕食の後、19:00より恒例となった各校山岳部の紹介を行った。合唱や、踊りなど生徒の生き生きとした姿を見



冬山リーダー講習会 非常用ソリを搬送し富士見小屋へ背景は武尊山

ることができた。消灯21:00。

29日、晴れ。起床4:00、小屋6:45出発。5班とも冬路沢コースをとり前後して下山した。各班毎にコンパスワークを行い、8:20～8:58に渡渉点を通過。その後、順調に下り、田代原9:45～9:58、最終班が尾瀬ふらり館に到着し12:35より閉会式を行い3泊4日の講習会を終了した。

第43回座学講習会

○平成24年4月21日(土)

○伊勢崎工業高校 視聴覚室

○参加 21校、128名、顧問23名

講習内容

講習①「赤城山の地形・地質」 関口省人(館林)

講習②「読図・地形図」 山田精一(桐生)

講習③「救急法」小暮真之(前女)

講習④「装備」田中洋史(利根実)

講習⑤「気象・天気図」 井田祐一(高工)

○概要 この講習会は県総体及びインターハイの登山競技に必要な登山の基礎知識や、県総体が実施される山域の地形などの講習を目的としている。今年度の参加校数は昨年よりやや減った21校だった。講習の担当者が常任委員を中心に固定気味なので、この講習会をよ

り活気あるものにするために委員、顧問の先生方にも講師として参加してもらおうのも良いのだろう。本講習会を県総体の対策としてだけでなく、登山の知識を深めることで、安全で楽しい登山活動へとつなげて欲しい。

第47回県総体登山大会

○平成24年5月11日(金)～13日(日)

○赤城山

○参加

	男子	女子	合計
1部	13校52名	4校16名	68名
2部	27校210名	7校107名	317名
全体	27校262名	7校123名	385名

生徒33校 385名、顧問75名、合計460名

○1部成績

男子	女子
1位 新島89・5	1位 高女92・2
2位 前工86・5	2位 渋谷88・5
3位 高崎82・6	3位 前女87・0
4位 太田81・5	4位 太女47・0
5位 前橋81・1	
6位 沼田76・7	

男子1位と女子1位は全国大会へ、男子2～7位と女子2～3位は関東大会への出場権を獲得した。
○概要 参加が男子27校、262名(日23は234名、女子7校、123名(日23は121名)で、昨年比比べて男子は12%増加、女子は微増となった。ここ5年増加傾向にある。

第1日目、晴。良い天気恵まれ、新緑の景色の中で競技が行われた。1部は津久田駅に9時集合、受付・開会式を行った後、隊行動で登山行動に移った。双永寺で昼食休憩、若干遅れたパーティーはあったが順調に進行、その後林道終点からパーティー行動となった。やや寒く遅れたパーティーもあったが、さいたま自然の家から再び隊行動となり幕营地である旧白川小赤城分校に到着した。計量審査の後、リーダー集合、設営審査、天気図審査などを経て、1日目終了。2部は10時半に旧富士見村箕輪に集合し、11時半に登山行動に移った。荒山高原で昼食休憩をとった後、班行動となり、男子は荒山経由、女子はあずまや経由で、ほぼ予定通りの時刻に幕营地である赤城少年自然の家キャンプ場に到着した。第2日目、晴。1部は4時起床、炊事、テント撤収の後、6時に出発。隊行動で五輪尾根経由で黒檜登山口へ行き、そこからパーティー行動となって黒檜山↓駒ヶ岳↓大洞へと進んだ(昼食は大洞で)。大洞から再び隊行動となり八丁峠へ到着後、パーティー行動で荒山往復。その後隊行動で地蔵岳に登頂後幕营地に戻った。途中多くの審査を受けながらの長いコースであったが、天候に恵まれ予定時間で走破することができた。2部は6時半～7時の間に各パーティーごとに幕营地をサブザック行動にて出発し、地蔵岳↓沼尻↓薬師岳↓黒檜山↓駒ヶ岳↓大洞↓覚満淵↓幕营地というコースを講習を受けながら全パーティーが踏破した。

第3日目、晴。キャンプ場の清掃作業後、赤城少年自然の家駐車場にて閉会式を行い、成績発表、講評、表彰式を行い終了した。今回は気温は低く寒かったものの好天に恵まれ、新緑の中で春山の魅力を十分に堪能できた大会となった。

夏山登山顧問講習会

○平成24年6月8日(金)～9日(土)

○笠ヶ岳

○参加 11名

○概要 8日、晴、みなかみ水紀行館に集合(10:00)し、宝台樹キャンプ場・ならまたキャンプ場を視察し、奥利根水源の森キャンプ場着(12:30)。インターハイ・県総体審査基準に沿ってテント設営講習(エスパーステント、張り綱の張り具合、ペグ角度、打ち込み角度・深さ、撤収法)。続いて水源の森の周回登山道にて登山講習。その後、夕食。登山専門部の今後のことなどを話し合い、9:00に就寝した。9日、曇・小雨起床。朝食後幕营地を出発(5:50)。咲倉沢林道入り口に移動し登山開始(6:25)。咲倉沢林道をたどりワラビ平(8:30)、避難小屋(9:35)を経て笠ヶ岳山頂(11:40)、天候は悪化し山頂の展望もきかないので記念写真の後下山開始。ワラビ平(14:15)、そこから、登りルートから分かれ、ならまたキャンプ場への登山道に入り下山。咲倉沢林道入り口着(16:30)。車両にて下山・帰途につく。



夏山登山顧問講習会 笠ヶ岳山頂で

今回の講習会は昨年に続き、テント泊など登山の基本に立ち返り、特にインターハイ・県総体の審査方法に着眼した内容で、参加者には役立つ内容であった。また、専門部としてこの山域での活動は久しぶりで初めてこの山に登った参加者が大多数であり、印象に残っただろう。今後も多くの顧問の参加を期待したい。

第42回夏山合宿計画書検討会

○平成24年7月14日(土)

○高崎工業高校 会議室

○参加 12校、50名、顧問16名

○講習内容

講習①「医療」 新井伸栄(榛名) 講習②「夏山の気象」 井田祐一(高工)

講習③「装備」 小林政幸(沼田) 講習④「食料」 井上貴智(高崎) 計画検討会

○概要 指導講習委員長の司会で開会。会場使用についての連絡の後、早速午前の講習に入った。それぞれの担当者から、資料と映像をもとにわかりやすい説明が行われ、参加生徒には大いに役立つ内容であった。昼食をはさみ、午後の計画検討会では、山域別に北アルプス6校、南アルプス3校、上信越・尾瀬・日光2校の夏山計画について、各校の代表生徒から説明が行われ、昨年度の経験を踏まえた生徒の意見や経験ある顧問の建設的なアドバイスなどが寄せられ、各校の計画について、多角的

な検討が加えられた。

全国総体・第56回全国高等学校登山大会

○平成24年8月6日(月)～8月11日(土)

○新潟県、苗場山、平標山・三国峠山域

○日程

6日…受付、監督会議、リーダー会議

7日…開会式・苗場プリンスホテル幕营地

8日～10日…登山行動
11日…閉会式

○団体男子 新島(出場…8回目) 成績17位

1日…幕营地…平標駐車場…松手山…平標山…平標山の家…平標駐車場…幕营地

2日…幕营地…被川駐車場…和田小屋…神楽ヶ峰…苗場山…神楽ヶ峰…田代スキー場…幕营地

3日…幕营地…三国峠登山口…三国峠…平標山の家…平標駐車場…宿舎

○団体女子 高女(出場…7年連続19回目)成績3位

1日…幕营地…被川駐車場…和田小屋…神楽ヶ峰…苗場山…神楽ヶ峰…田代スキー場…幕营地

山…神楽ヶ峰…田代スキー場…幕营地



インターハイ苗場山山頂付近 3位入賞の高女チーム

3位に入賞を果たすという素晴らしい成績を収めることができた。
第28回秋山登山顧問講習会

○平成24年9月8日(土)
○ウォールストリート、榛名山黒岩

○参加 午前(ウォールストリート)11名、午後9名(黒岩)

○概要 人工壁でのスポーツクライミングと自然壁を利用してのアルパインクライミングのセットで講習を行った。

午前(8…00(集合)～11…00)、前橋ウォールストリートに集合。ボルダリングの基礎、トップロープを用いたクライミング、リードクライミング、ビレイ方法、専門部強化責任者を講師に講習した。榛名山黒岩へ移動。

午後(昼食後12…30～16…00)、トップロープでのクライミング・ビレイ、リード・セカンドでのクライミング・ビレイ、懸垂下降、支点の取り方など、講習した。個人装備のない参加者が多かったが、専門部の装備を用いたり、貸し借りでしのぎ、特にクライミングシューズの威力を体験する良い機会となった。また、黒岩では初心者全員がATCを使った確保を確実にできるように、密度の高い講習会となった。

濃い講習会となった。

第56回関東高校登山大会

○平成24年11月9日(金) 11月11日(日)

○千葉県南房総市房総丘陵(鳥場山・御殿山・大日山・鋸山)

○出場校 A…渋谷、前女 B…沼田、太工 C…太田、前橋 D…前工、高崎

○日程・コース

9日…開会式・講義(スライドによる自然学習)・移動幕営(大房岬自然公園運動園地)

10日…登山行動

A隊…幕营地…花園…花嫁街道入口…経文石…鳥場山…金比羅山…花園…幕营地

B隊…幕营地…花園…花嫁街道入口…花園広場…金比羅山…鳥場山…経文石…花園…幕营地

C隊…幕营地…増間下…坊滝…大日山…宝篋山…御殿山…東星田分岐…高照禅寺前…幕营地

D隊…幕营地…浜金谷…観月台…日本寺…石切場跡…東京湾を望む展望台…鋸山山頂…保田…幕营地

E隊…宿舎…高照禅寺前…東星田分岐…御殿山…宝篋山

…大日山…県道富山丸山線大日山入口…宿舎
11日…閉会式

○概要 1日目、今回の関東大会は千葉県房総半島の先端にあたり公共交通機関では時間と費用がかかるためか、県内参加校は2手に分かれ、借り上げバスをもちいて会場に向かった。温暖な地域であり例年よりかなり遅い開催である。

大房岬少年自然の家体育館で開会式が行われ、ひきつづき体育館でスライドを用いた大房岬の自然の講習が行われた。その後隣接する自然公園園地に移動し幕営した。

2日目、天気は晴れ、寒気が流入し、地元でも減多にないという絶好の展望に恵まれ、コースのそれぞれに用意された展望ポイントではまれに見る展望が望めた。また、コースごとに用意された講習



関東大会(千葉県)閉会式にて

も伝統的な鯨漁と鯨肉の試食など内容豊富でコースは短い工夫があつて十分に楽しめた。

3日目、開会式と同じ大房岬少年自然の家体育館にて閉会式。本県参加パーティーはそれぞれ借り上げバスにて帰路についた。

第43回新人登山大会

○平成24年10月5日(金)〜7日(日)

○白砂山(2140m)及びその周辺

○参加 25校 生徒167名 顧問45名 合計212名

○成績

	男子縦走	女子縦走
1位	関口 春樹 (太田2)	横山 絢音 (渋谷2)
2位	松島 健太 (太田2)	小林 佳奈 (高女2)
3位	関澤 力 (太田2)	佐藤 由理 (前女2)
4位	服部 竜也 (富岡2)	城田 曜子 (高女2)
5位	黒岩 勇斗 (渋川1)	市川 宮子 (高女1)
6位	小川哲之進 (利実1)	中里見悠衣 (高女1)

○日程・コース

5日 受付・開会式・設営

6日 1部…

Aコース…キャンプ場…堂岩山…白砂山(往復)

Bコース…キャンプ場…堂岩山…八間山…キャンプ場

2部…競技区間(ビクターセ

ンプ場



新人大会・白砂山 (野反湖キャンプ場、2部縦走競技スタート直前)

ンター―堂岩山水場)ゴール後、1部に合流

7日 閉会式・表彰式・解散

○概要 10年ぶりに白砂山を会場にして新人登山大会を実施した。コースは前回と同じで、このルートはしっかりとっているがバリエーションはあまりない。ちょうど紅葉の季節にあたり、今ひとつの天気だったが大きく崩れることもなく予定通り実施することができた。

5日、午後3時半、キャンプ場の広場にて開会式を行った。群馬県山岳連盟会長の八木原昭明さんから挨拶を頂いた。

6日、2部(縦走競技)が6:30ビクターセンター前をスタート。距離約4km、標高差約450mのコース設定で、堂岩山山頂手前のゴールを目指して一気に駆け上がった。続いて6:50までに1

部が出発。各パーティーは2部のゴールで合流し、Aコース(白砂山)9パーティー、Bコース(八間山)7パーティー、Aコースで制限時間内に白砂山から堂岩山分岐に戻った9パーティーはさらに八間山を回った。運営・コース取りに工夫があり、各校の力量に合わせて登山を楽しむことができた。

7日、路線バスの出発時刻(9:09)に間に合わせようと、閉会式(7:25〜7:55)を行う。講評・成績発表・表彰式を行い、大会を閉じた。

冬山顧問講習会

○平成25年2月8日(金)〜10日(日)

○尾瀬富士見峠付近

○参加16名

○概要 3月に実施されるリーダー冬季講習会のコース調査及び、講習内容の検討を兼ねた講習会である。

初日 開会の後、戸倉スキー場で雪山の歩行技術の講習を行い参加者の「足並み」を確認した。富士見旅館にて救急ソリ作りの講習を行った。有意義な講習となった。

2日目 晴。昨夜の寒波は早めに通過。締まった層の上にさらに新雪が50cmほどつもりラッセルもなかなか大変である。地形図を見



冬山リーダー講習会 下山時の様子

ながら冬路沢コースを辿り富士見峠に到着した。富士見峠に8人用テントを2基設営し一夜の宿りとする。

3日目 晴。昨夜は満天の星。天候は安定。アヤマ平に向かいコンパスワークの講習を行った後、こぶの木コース、冬路沢コースに分かれ下山した。

〔クライミング競技〕

第67回団体山岳競技群馬県予選会兼第16回群馬カップ

○平成24年4月22日

○前橋 クライミングジム「ウォールストリート前橋」

○参加 少年男子20名、少年女子6名

○成績

少年男子

1位 白石凌 桐工 3年

1位 井上颯 桐工 3年

○平成24年7月28、29日

○東京都東久留米市

東久留米市スポーツセンター

第67回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会

3位 磯部の八 高崎 3年

少年女子

1位 横山千晃 前女 3年

2位 堤 真心 沼女 2年

3位 細矢久留実 沼女 3年

○概要

国体の登山種目がクライミング競技となつて5年目になるが、要求される技術を身につけた選手が限られ、参加人数は少ない。

今大会では少年女子の競技中に落下、救急搬送される選手が出た。登る技術だけでなく、自身の安全を確保する技術、またビレイヤーや審判の安全確保の技術向上も欠かせないと痛感した。

少年男子はぬきんでた技術を持った選手がいなかった。桐工の選手が1、2位を占めた。少年女子は昨年度2年生で県代表となった横山、細矢に2年生の堤が善戦し、いい刺激を与え合っていた。

普段の練習から上位の大会を意識し練習している選手が上位を独占した。

第67回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会

○平成24年7月28、29日

○東京都東久留米市

東久留米市スポーツセンター

○成績

少年男子	リード8位
選手	ボルダリング6位 総合7位
白石 凌 (桐工3年)	
井上 颯 (桐工3年)	
少年女子	リード8位
選手	ボルダリング8位 総合8位
細矢久瑠実 (沼女3年)	
横山千晃 (前女3年)	

○概要

関東ブロックのレベルは高く、男女とも本国体への出場権を得ることができず残念であった。全員が高校へ入学後クライミングを初めて経験した選手であり、他県選手のように、幼少期から継続して経験を積んできた選手との差は大きい。

第15回JOCジュニアオリンピックカップ大会

○平成24年8月11～13日

○富山県南砺市

桜ヶ池クライミングセンター

○成績

男子	ユースA	愛敬直輝 (婦恋2年)	42 / 45位
女子	ユースA	横山千晃 (前女3年)	10 / 13位
		細矢久瑠実 (沼女2年)	9 / 13位

第14回関東地区スポーツクライミング競技会

○平成24年11月25日

○山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園クライミング場

○成績

○前橋 クライミングジム

「ウォールストリート前橋」

○参加

男子	18	オープン	合計
女子	8		
合計	26		
			41

○成績

優勝	田嶋悠介	太東1年	堤 真心	沼女2年
2位	竹吉 徹	利根実3年	細矢久瑠実	沼女3年
3位	中島壮太郎	沼田2年	大竹さら紗	沼女1年
優勝	比ギナー男子	比ギナー女子	比ギナー男子	比ギナー女子
2位	星野 蓮	沼田1年	高橋 梢	前南1年
3位	鈴木健太郎	沼田1年	篠原 広乃	太女1年

○概要

昨年度から出場規定を厳しくして、オープンカテゴリはリードクライミングが出来ること、比ギナーは1年生のみとなり2年目の大会である。

普段から本気でクライミングに競技として取り組んでいないとリードクライミングは出来るようにはならないため、参加人数が年々減ってきてしまっている。

そんな中男女共に1、2年生が初優勝を遂げ、上級生を退けたこととはうれしいことである。

第3回全国高校生クライミング選手権大会

○平成24年12月22・23日

○埼玉県加須市 市民体育館

男子	リード	愛敬直輝 (婦恋2年)	69 / 94位
		田嶋悠介 (太東1年)	69 / 94位
女子	リード	堤 真心 (沼女2年)	33 / 74位
		澤浦 和香 (沼女2年)	67 / 74位

○概要

今年で第3回目となり、すっかり定着してきた様子であり、参加者も男女とも16名ずつ増え、本県からは上記の4名が参加。大いに盛り上がった大会であった。

群馬県勢は1、2年の新勢力を送った。沼女・堤はあと一歩で準決勝へ進出できた。今年度の経験を生かし来年以降につなげて欲しい。

第7回群馬県高等学校クライミング選手権大会

○平成25年1月27日(日)

味のりんど

アンナプルナりんど園

沼田市上久屋町 1231 TEL・FAX 0278-23-6802
http://annapurna.jp

Annapura

関東 オートキャンプ場 なら 桐の木平キャンプ場 溪流サイト 団体専用あり

桐の木平キャンプ場

〒378-0102

群馬県利根郡川場村川場湯原2681

tel 0278-52-2442

電話、弱電工事

プモリ電設

〒379-2223

伊勢崎市小泉町 252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026